

県高校教育研工業部会

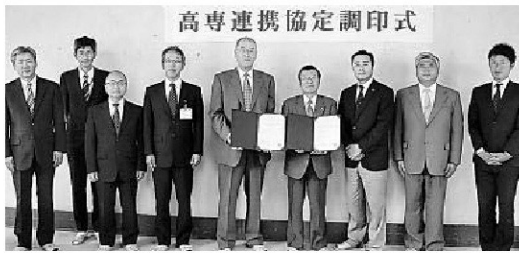
東海工専金山と連携協定

工業系学科を設置する県内11高校の教職員でつくる県高等学校教育研究会工業部会と、東海工業専門学校金山校(名古屋市中)は18日、羽島郡笠松町常盤町の

結んだ「写真」。

同校は建築や土木、測量などで即戦力となり得る人材を育成する専門学校。

連携協定は、多様な学習機会を提供してキ



ヤリア教育の充実を図り、業界への技術・技能者の就業を促進する目的。同部会では関市の中日本航空専門学校、揖斐郡大野町の東海職業能力開発大学校に続き、3校目となる。

協定では、▽研修などへの高校からの受講生の受け入れ▽高校で授業外の特別教育活動を行うときに同校から講師を派遣▽教育訓練に関する情報交換などを記している。

関係者約10人が岐阜工業高校に訪れ、長屋千秋部会長と鈴木茂樹校長が協定書に調印。長屋部会長は「協定を機に、多くの高校生が建設業界に目を向け、将来、仕事に就きたいという夢づくりのきっかけをつくってほしい」と話した。

(玉田健太)